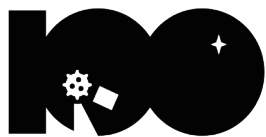




あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM

2023. 10 月号



プラネタリウム
100周年

令和5年 令和6年
10/21(土) ~ 1/8(月・祝)

令和五年度秋期特別展

プ
ラ
ネ
タ
リ
ウ
ム

天
象
儀

100年の軌跡



“地上の星” 誕生から100年

プラネタリウムの歴史と現在

2023 年は近代的なプラネタリウムが誕生して 100 周年。現在のプラネタリウムは、星の位置や動き、惑星の運行を正確に再現するだけでなく、太陽系を俯瞰したり、宇宙の大規模構造の中を進んだり、最新の宇宙像を映し出すことができます。

誕生から 100 年……プラネタリウムは世界中に広がり、日本は世界に名だたるプラネタリウム大国となりました。

本展では、これまでの 1 世紀にわたるプラネタリウムの歩みと、芸術的ともいえるプラネタリウムのしゅみを紹介します。皆さんにとって、プラネタリウムが今以上に身近な存在になれば幸いです。



プラネタリウム
100周年

★特別展開連行事★

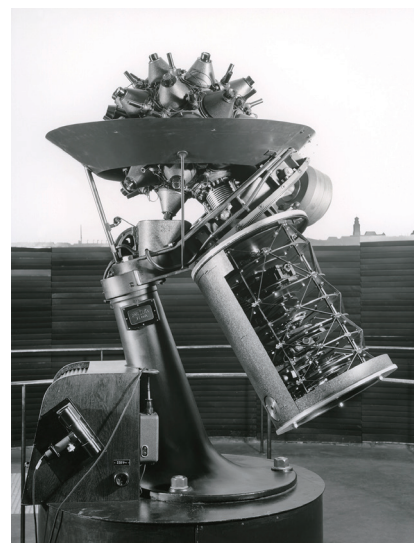
全国一斉 プラネタリウム 100 周年 記念イベント

秋期特別展の展示解説+プラネタリウムドームでの特別投影です。特別投影では、世界からのメッセージやオリジナル映像を交えつつ、プラネタリウムが誕生した 100 年前の星空を投影します。日本各地のプラネタリウム、およびプラネタリウム誕生の地・ドイツとも中継をつなぐスペシャルイベントです。

- 日時：10月21日(土) 午後6時～8時
- 場所：博物館1階特別展示室および3階プラネタリウム室
- 定員：30名(応募多数時は平塚市内在住者を優先し、抽選を行う)
- 申込：往復はがき(行事名・氏名・住所・電話番号を記入、1枚につき2名)、または博物館ホームページの応募フォームから申込(5ページ下のQRコードもご利用ください)
- 締切：往復はがき：10月9日(月・祝)当日消印有効
Webフォーム：10月11日(水)

特別展展示解説

- 日時：11月12日(日) 午後1時～1時45分 ※12月、1月にも実施予定
- 場所：博物館1階特別展示室
- 申込：不要(当日、15分前から特別展示室入口で整理券を配布)

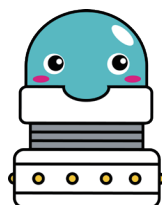
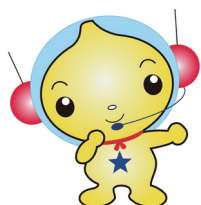


世界最初のプラネタリウム ツァイス |
Credit : Deutsches Museum

情報コーナー 全国プラネタリウム大集合！

1月8日(月・祝)まで

特別展に先行してオープンする“サテライト展示”。プラネタリウム大国・日本の多種多様なプラネタリウムの投影機を写真で紹介しします。プラネタリウム館にまつわるオリジナルキャラクターやグッズ、プラネタリウムが登場する“作品”を紹介するコーナーも。ぜひご覧ください。



◀全国のプラネタリウムを彩る キャラクターたち

左からひょんたん(伊丹市こども文化科学館)、ぴよん太(広島市こども文化科学館)、ハロット(釧路市こども遊学館)

★ 10月のプラネタリウム ☆

☆一般向け投影：国際宇宙ステーションに潜入

国際宇宙ステーションは、地上から 400 km 離れた地球の周回軌道上を回る有人実験施設です。1998 年に建設が開始され、睡眠や食事をする居住棟や実験を行う実験棟など、様々なパーツが組み合わさりました。今ではサッカー場がすっぽり収まる大きさがあり、常に 7 人の宇宙飛行士が滞在しています。中でも日本の実験棟「きぼう」は、専用のベランダやエアロックを持つ、盛りだくさんの施設です。番組では宇宙ステーションの内部に潜入して、様々な仕組みや機能を紹介しします。また窓から広がる美しい地球や宇宙の姿や、地上からの国際宇宙ステーションの見え方も紹介しします。

投影日：土曜日 午後 2 時～ / 日曜日 午前 11 時～、午後 2 時～



◀国際宇宙ステーション
©NASA

★幼児向け投影：2061 約束の星空

<あらすじ>

そこは、ここではないどこかの、星空がとてもきれいに見える部屋。

そこで、小さなロボットがずっと、誰かを待っています。

二人を見守るのは、星と、宇宙と、10 年後にいっしょに彗星を見するという約束...

「2061 約束の星空」

それは、いっしょに遊ぶことしかできないロボットが、男の子の閉ざされた心を、こつこつ、たたき続ける物語。

男の子が「宇宙」「星座」に関心を持つきっかけになる「うちゅうなぞなぞ」や「未来」と「今」を結びつける彗星という希望、心温まるストーリーが、感動のプラネタリウム世界へ誘います。

投影日：土曜日 午前 11 時～ / 制作：田島秀樹事務所(有)

◆特別投影：星空散歩

「星空散歩」は 50 分間すべて星空についてお話をする投影です。10 月～11 月に見られる星座や天文現象を紹介しします。八王子さんオリジナルの星座絵が登場。缶バッジもプレゼント！

投影日：10 月 1 日(日) 午後 3 時 30 分～

10月	月	火	水	木	金	土	日
							1
11 時							☆
14 時							☆
15 時 30 分							◆
	2	3	4	5	6	7	8
11 時						★	☆
14 時						☆	☆
	9	10	11	12	13	14	15
11 時						★	☆
14 時						☆	☆
	16	17	18	19	20	21	22
11 時						★	☆
14 時						☆	☆
	23	24	25	26	27	28	29
11 時						★	☆
14 時						☆	☆
	30	31					
11 時							
14 時							

☆：一般向け投影 ★：幼児向け投影 ◆特別投影



© 田島秀樹事務所



- ・定 員：70名／自由席
- ・投影日時：右上の表を参照（投影は午前11時～と午後2時～／特別投影は午後3時30分～） 各回50分間
- ・観 覧 料：200円（18歳未満65歳以上の方は無料／65歳以上の方は年齢を確認できるものをご用意ください）
午前11時の回、午後2時の回、特別投影の整理券を当日午前9時から受付で配布（代表者のみでも可、5枚まで）
午前11時の回は午前10時15分から、午後2時の回と特別投影(午後3時30分の回)は午後1時15分から観覧券を販売。
- ・観覧者全員が揃ってから観覧券をお求めのうえ、投影開始15分前までに3階のプラネタリウム室にお越しください。
- ・番組の内容は急遽変更になる場合があります。 ・投影開始後のご入場、途中退出はできません。

企画展 ひらつかの家康伝説

会 期：10月19日（木）～12月10日（日）

会 場：平塚市博物館 1 階寄贈品コーナー

平塚市域には徳川家康に関する史跡や伝説が、数多く伝えられています。そのなかには史実として確認できない事柄もありますが、これらは天正18年（1590）の徳川家康の関東入国以来の地域と家康との関わりの中からは生まれ、伝えられてきたもので、市域の地域性が表されているといえます。

本企画展では、平塚市域における徳川家康にまつわる史跡や伝説、ゆかりの品の紹介を通して、家康と地域の関係を考えます。



葵紋付銚子（豊年山清雲寺蔵／平塚市博物館寄託）

星を見る会「十三夜のお月見をしよう ／遠くの4惑星観察に挑戦」

日本にはお月見を2回する風習があります。十五夜と十三夜。「星を見る会」10月27日は、その2回目のお月見の日です。十三夜の月は満月よりもちょっと欠けた月。秋の夜空を彩る惑星たちと一緒に望遠鏡でその姿を楽しみましょう。11月10日は木星や土星よりも遠い天王星や海王星の観察にもチャレンジ！なかなか見る機会がない2惑星の姿をぜひ目に焼き付けてください。

■日時：10月27日（金）／11月10日（金） いずれも午後7時～午後8時30分

■会場：博物館屋上

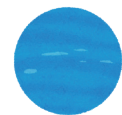
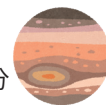
■定員：80名（1組4名まで、応募多数時は平塚市内在住者を優先し、抽選を行う）

■申込：往復はがき（行事名・氏名・住所・電話番号を記入）

または、博物館ホームページの応募フォームから申込（右記のQRコードもご利用ください）

■締切：10月27日分 → 10月15日（日）（往復はがきの場合は10月13日（金）当日消印有効）

11月10日分 → 10月29日（日）（往復はがきの場合は10月27日（金）当日消印有効）



New!

何にもしないで夕陽を見よう

望遠鏡やカメラは用いずに、ただ「見る」「聞く」「触れる」など感覚のみをたよりにして「日が暮れる」という現象を観察してみましょう。いつもとちがう夕暮れがきっと見つかるはず！

■日時：11月4日（土） 午後4時～午後6時

■場所：プラネタリウム室～屋上

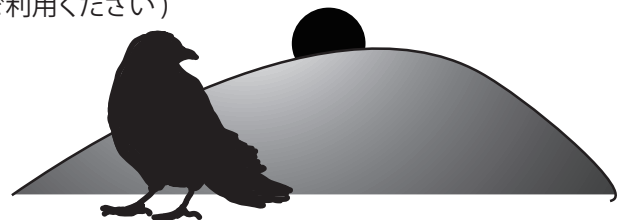
■定員：20名（応募多数時は平塚市内在住者を優先して抽選します）

■申込：往復はがき（行事名・氏名・住所・電話番号を記入）、または博物館ホームページの応募フォームから申込（5ページ下のQRコードもご利用ください）

■締切：往復はがき：10月17日（火）当日消印有効

Webフォーム：10月19日（木）同日中

※雨天・曇天時は中止します



考古学入門講座「近世・近現代の考古学」

考古学が扱う時代は縄文や弥生ばかりじゃないんだぞ!というわけで、考古学ではあまり触れられない近世・近現代についての概説的な講座です。

■日時：10月22日(日)、11月19日(日)、12月10日(日)

10月回・11月回：午後1時30分～2時30分

12月回：午前10時30分～12時

■会場：博物館講堂

■定員：60名(応募多数時は平塚市内在住者を優先し、抽選を行う)

■申込：往復はがき(行事名・氏名・住所・電話番号を記入)、または博物館ホームページの応募フォームから申込(ページ下のQRコードもご利用ください)。

■締切：往復はがき：10月12日(木)

当日消印有効

Webフォーム：10月16日(月) 同日中

■備考：3回分まとめてのお申込です

■内容(予定)

・10月回「江戸時代を考古学する」

・11月回「近現代を考古学する」

・12月回「中原御殿に家康の戦略を読む」

※12月回は当館前館長による講座です

石仏見学会 上吉沢の石仏めぐり

石仏を調べる会の案内と解説で市内上吉沢の石造物を訪ねます。延命寺にある市内では珍しい石幢型の庚申塔や、山ノ神青年会館の平塚市内で二番目に古い阿弥陀如来像など見ごたえのあるコースです。石仏の見方や種類、石仏に込められた願い、時代による石仏の移り変わりを学んでみませんか。

■日時：10月29日(日) 午前9時30分～12時30分

■場所：平塚市上吉沢・中吉沢

■定員：15名(応募多数時は平塚市内在住者を優先し、抽選を行う)

■申込：往復はがき(行事名・氏名・住所・電話番号を記入、1枚につき2人)、または博物館ホームページの応募フォームから申込(ページ右下のQRコードもご利用ください)。

■締切：往復はがき：10月13日(金) 当日消印有効

Webフォーム：10月16日(月) 同日中

延命寺の六地藏庚申塔▶

貞享4年(1687)建立
造立年代が判明している中では一番古い六地藏。
六地藏信仰と庚申信仰が習合したもので、市内でも2基しかない塔である。1基は北金目の不動院に元禄13年(1700)建立の六地藏庚申塔がある。



ろばたばなし

博物館1階の相模の家の座敷で、語り手が平塚に伝わる話を含めた昔話などを話します。古民家の雰囲気の中で、昔話に耳を傾けてみませんか?

■日時：10月29日(日) 午後3時15分～3時45分

■場所：博物館1階 相模の家

■備考：開始時刻までに相模の家にお越しください。



▲ろばたばなしの様子

事前申込制行事は右のQRコードから申込ができます。(博物館HPからも申込できます)

秋期特別展関連行事(詳細は2ページ) / 何にもしないで夕陽を見よう(10月19日(木)まで)
考古学入門講座(10月16日(月)まで) / 上吉沢の石仏めぐり(10月16日(月)まで)



1 日	○ 平塚学講座 (申込終了) ◆ 星空散歩	講堂 プラネタリウム	☆
2 月	休館		
3 火	聞き書きの会	科学教室	
4 水			
5 木	展示解説ボランティアの会	講堂	
6 金	古文書講読会	講堂	
	地球科学野外ゼミ	野外	
7 土	地球科学野外ゼミ 祭りばやし研究会	野外 科学教室	☆
8 日	○ 講座「平塚学入門」(申込終了) 平塚の古代を学ぶ会 天体観察会 流星分科会	講堂 科学教室 講堂	☆
9 月			
10 火	休館		
11 水			
12 木	石仏を調べる会 古代生活実験室	講堂 科学教室	
13 金	古文書講読会	講堂	
14 土			☆
15 日	○ 講座「平塚学入門」(申込終了)	講堂	☆
16 月	休館		
17 火			
18 水	裏打ちの会 民俗探訪会	科学教室 講堂	
19 木	○ きのこの観察会 (10/1 締切) 展示解説ボランティアの会	野外 講堂	
20 金	古文書講読会	講堂	
21 土	○ プラネタリウム 100 周年 記念イベント 地域史研究ゼミ 平塚の空襲と戦災を記録する会	特別展示室ほか 特別研究室 特別研究室	☆
22 日	○ 講座「平塚学入門」(申込終了) ○ 考古学入門講座 生き物ズームプロジェクト	講堂 講堂 野外	☆
23 月	休館		
24 火	聞き書きの会	科学教室	
25 水			
26 木	石仏を調べる会	講堂	
27 金	○ 星を見る会 古文書講読会	屋上 講堂	
28 土	天体観察会 太陽分科会 初心者コース 天体観察会 定例会	講堂 講堂	☆
29 日	○ 石仏めぐり ◎ ろばたばなし 天体観察会 天文分科会	野外 相模の家 講堂	☆
30 月	休館		
31 火	天体観察会 太陽分科会	講堂	

ブ特寄情
特 大正関東地震と平塚の地盤 (10月15日まで)
寄 全国プラネタリウム大集合! (令和6年1月8日まで)
情 国際宇宙ステーションに潜入 (10月29日まで)
ひらつかの家康伝説 (12月10日まで)
天象儀 (プラネタリウム) 100年の軌跡 (1月8日まで)

1 水			
2 木	展示解説ボランティアの会	講堂	
3 金			
4 土	○ 何にもしないで夕陽を見よう 地球科学野外ゼミ 祭りばやし研究会	屋上ほか 講堂 科学教室	☆
5 日	○ 講座「平塚学入門」(申込終了) 平塚の古代を学ぶ会 天体観察会 流星分科会	講堂 科学教室 講堂	☆
6 月	休館		
7 火			
8 水			
9 木	石仏を調べる会 古代生活実験室	講堂 科学教室	
10 金	○ 星を見る会 古文書講読会	屋上 講堂	
11 土	東国史跡踏査団	野外	☆
12 日	○ 講座「平塚学入門」(申込終了) ◎ 秋期特別展展示解説 ◆ ひらはくオールスターズ	野外 特別展示室 プラネタリウム	☆
13 月	休館		
14 火	聞き書きの会	科学教室	
15 水	裏打ちの会 民俗探訪会	科学教室 講堂	
16 木	展示解説ボランティアの会	講堂	
17 金	古文書講読会	講堂	
18 土	地域史研究ゼミ 平塚の空襲と戦災を記録する会 ◆ デジタルプラネタリウムのすべて	特別研究室 特別研究室 プラネタリウム	☆
19 日	○ 考古学入門講座 生き物ズームプロジェクト	講堂 野外	☆
20 月	休館		
21 火			
22 水			
23 木			
24 金	古文書講読会	講堂	
25 土	○ 自然教室 天体観察会 太陽分科会 初心者コース 天体観察会 定例会	野外 講堂 講堂	☆
26 日	○ 相模川流域ジオツアー入門 ○ 館長の民俗学入門講座 ◎ ろばたばなし 天体観察会 天文学分科会	野外 講堂 相模の家 講堂	☆
27 月	休館		
28 火	聞き書きの会 天体観察会 太陽分科会	科学教室 講堂	
29 水	○ 星を見る会	屋上	
30 木			

10月の休館日：2日(月)、10日(火)、16日(月)、
23日(月)、30日(月)

☆：プラネタリウム投影日 ◎：申込制行事 ◎：当日整理券・自由参加
◆：プラネタリウム特別投影 無印：年間会員制 プ：プラネタリウム一般投影
特：特別展 寄：寄贈品コーナー展示 情：情報コーナー展示

平塚市のLINE、平塚市博物館のX(旧Twitter)でも情報を随時発信しています。

LINE：平塚市公式 LINE (@hiratsukacity)

X(旧Twitter)：平塚市博物館【公式】(@hirahaku_)



✕ (旧Twitter)

【来館のご案内】

開館時間：午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

入館料：無料

プラネタリウム観覧料：200円(減免などの詳細は3ページ参照)

休館日：月曜日(祝日の場合は火曜日に振り替え)

月末日(特別展開催期間や土・日曜日は開館)

年末年始・くん蒸・点検等

その他、予告なく休館する場合がございます。ご了承ください。



YouTube HIRAHAKU チャンネル では、様々な動画を公開中!

YouTube HIRAHAKU チャンネルでは、当館所蔵の資料について解説をする「博物館モノ語り」を毎月1本更新しています!
そのほかにも、「5分でわかる平塚学入門」、「だいたい3分でわかる88星座図鑑」など様々な動画を公開しています。また、
博物館ホームページからも動画をご覧いただけます。



▲ YouTube

あなたと博物館 51巻7号 通巻561号 発行 平塚市博物館 2000

〒254-0041 平塚市浅間町12-41 Tel:0463-33-5111 Fax:0463-31-3949 ホームページ <https://www.hirahaku.jp/>

